

2024年1月15日

各位

株式会社九州リースサービス  
代表取締役社長 磯山 誠二

## マルチテナント対応物流施設「グローバルロジ基山」竣工のお知らせ ～ 環境配慮型物流施設の開発による脱炭素社会への貢献 ～

株式会社九州リースサービス（代表取締役社長 磯山 誠二、以下、「当社」）は、物流施設開発事業として参画しておりました佐賀県三養基郡基山町の物流施設、「グローバルロジ基山（以下、「本施設」）」が、竣工しましたので、お知らせします。

本施設は、当社のほか、九州電力株式会社、九電不動産株式会社の3社が共同出資する合同会社基山ロジインベストメント（アセットマネージャー：株式会社玄海キャピタルマネジメント）が事業主体となり開発を行ったものです。

本施設は、敷地面積約 18,570 m<sup>2</sup>、延床面積約 20,830 m<sup>2</sup>、地上 4 階建てのマルチテナント対応可能な物流施設です。九州自動車道と長崎・大分自動車道との結節点になるエリアに位置しており、高速道路や主要幹線道路へのアクセスも良好であることから、大消費地である福岡市内のみならず、九州全域への配送にも優位性を備えた施設となります。

設備面においては、全館 LED 照明、人感センサー、節水型衛生器具を採用するとともに、構内には電気自動車の充電設備設置を可能とするスペースやシステム条件を整備するなどの省エネ対策を施しております。さらに、屋上には太陽光発電システムを導入し、入居テナントの再生可能エネルギー利用を促進することで、脱炭素社会に貢献します。こうした環境負荷低減に配慮した施設計画により、本施設は、Nearly ZEB<sup>※1</sup> 認証及び BELS 評価<sup>※2</sup>（最高ランク）を取得しており、物流施設として高い環境性能を有しております。

当社グループは、2021年4月より取り組む中期経営計画「共創 2024～Challenge for the Future～」において、「環境関連分野の取組強化」、「地方創造への貢献」を重点戦略のひとつとして掲げ、推進しております。今後も事業活動を通じて、脱炭素社会の実現や環境負荷低減などの社会課題解決に取り組み、地域のマーケット特性に応じた中長期的戦略の実行によって、持続可能な社会の実現を目指してまいります。

※1 Nearly ZEB（Net Zero Energy Building）とは、省エネ（50%以上）+創エネにより、従来建物で必要なエネルギーの75%以上の削減を実現する建築物をいいます。

※2 BELS 評価とは、国土交通省が推進している建築物の省エネルギー性能を評価・表示する統一的な公的指標をいいます。

該当する SDGs 項目



当社グループは企業理念である「共存共栄」「地域貢献」に基づく事業活動、事業戦略を通じて貢献する SDGs 項目を整理し、重要度や貢献度に応じて取り組むゴールを定め推進してまいります。

